

東北大学法科大学院教員紹介（専任教員）

西本 健太郎 NISHIMOTO Kentaro

学歴等				
年月	事項			
2003年3月 2005年3月 2011年3月	東京大学法学部第二類卒業 東京大学大学院法学政治学研究科研究者養成コース修士課程修了 東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了			
職歴				
年月	事項			
2010年4月 2010年10月 2011年4月 2012年4月	東京大学グローバルCOE 特任研究員 東京大学大学院公共政策学連携研究部特任助教 東京大学大学院公共政策学連携研究部特任講師 東北大学大学院法学研究科准教授			
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	備考
[論文]				
「海洋秩序の維持におけるソフトローの機能—漁業資源の保存管理と海洋環境の保護・保全」	共著	2008年9月	小寺彰・道垣内正人編『国際社会とソフトロー』（有斐閣）	59-85頁 奥脇直也と共著論文（担当部分の区分なし）
「海洋科学調査をめぐる国家実行とその評価」	単著	2011年3月	『「海洋科学調査をめぐる法的諸問題」に関する勉強会 研究報告書』（東京大学海洋アライアンス・独立行政法人海洋研究開発機構）	31 - 58頁
「海洋管轄権の歴史的展開（一）」	単著	2012年6月	『国家学会雑誌』125号5・6号	159 - 209頁

「海洋管轄権の歴史的展開（二）」	単著	2012年8月	『国家学会雑誌』125巻 7・8号	283 - 336 頁
「海洋管轄権の歴史的展開（三）」	単著	2012年10月	『国家学会雑誌』125巻 9・10号	413 - 476 頁
「海洋管轄権の歴史的展開（四）」	単著	2012年12月	『国家学会雑誌』125巻 11・12号	551 - 609 頁
「海洋管轄権の歴史的展開（五）」	単著	2013年2月	『国家学会雑誌』126巻 1・2号	55 - 111 頁
「スヴァールバル諸島周辺海域の国際法上の地位」	単著	2013年3月	奥脇直也・城山英明編『北極海のガバナンス』(東信堂)	143-168 頁
[翻訳]				
1. アルビン・エーザー「EU 基本権憲章における刑法および刑事手続のための人権保障」	共著	2009年1月	『立命館法学』第323号	132-162 頁 高柴優貴子・松倉治代と共訳（担当部分の区分なし）
2. ルチュウス・ビルトハーバー「様々な角度からみた欧州人権裁判所」	共著	2009年1月	『立命館法学』第323号 222-234号	出口雅久と共訳（担当部分の区分なし）
3. “Tokyo High Court, Judgment, October 4, 2007,” in Masahiko Asada, Shotaro Hamamoto and Yumi Nishimura (eds.), “Judicial Decisions in Japan, I. Public International Law”	単著	2010年2月	Japanese Yearbook of International Law, Vol. 52	pp. 658-664.
4. ジョー・ボーシ「北極地域における機会と責任：欧州連合の視点」	単著	2013年3月	奥脇直也・城山英明編『北極海のガバナンス』(東信堂)	116-124 頁
[書評]				
“Book Review: Nihon ni okeru Kaiyoho no Syuyo Kadai [Major Issues on Law of the Sea in Japan]”	単著	2013年2月	Japanese Yearbook of International Law, Vol. 55	pp. 540-543.
[辞典項目]				
「領海」「公海」など31項目	単著	2013年3月	小笠原高雪・栗栖薫子・広瀬佳一・宮坂直史・森川幸一編『国際関係・安全保障用語辞』(ミネルヴァ書房)	
学会及び社会における活動等				
年月	事項			
2008年4月	外務省国際法局国際法課・国際法調査員（～2009年3月）			